

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院で緩和ケアチームが介入したがん患者さんへ

和歌山県立医科大学麻酔科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題

緩和ケア介入がん患者におけるオピオイド使用状況に対する後ろ向き調査

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 講師 栗山 俊之

3. 研究の目的

オピオイドは痛みや呼吸困難を緩和するために使用する薬剤です。医療用麻薬もその中に含まれますが、日本では医療用麻薬に対する誤解があり使用量が海外より少ない状態です。病態によってオピオイドの効果や使用開始時期は異なるため、今回オピオイドの使用と患者さんの病態を調査し予後との関係を明らかにすることを目的としています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2020年4月から2021年3月の間に緩和ケアチームが介入したがん患者さん

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、紹介科、がん種、介入開始日、介入時期、介入時PS(Performance Status)、介入後転帰、介入時の症状(痛み・しびれ・全身倦怠感・呼吸困難・咳嗽・喀痰・悪心嘔吐・腹満、食欲不振、便秘、眠気、不眠、せん妄、不安)、使用オピオイド種類、オピオイド投与経路、オピオイド開始日、オピオイド使用目的、死亡日、死亡場所などに関する情報です。

(3) 方法

単施設による当院の電子カルテ等の診療記録を用いた後ろ向き研究

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は下記にご連絡くだされば研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることはありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学麻酔科学講座 担当医師 奥田有香

TEL : 073-447-2300

E-mail : yuuka-o@wakayama-med.ac.jp